

Week of June 22, 2025 - The Work of One Spirit　　Small Group Lesson 26

知り合う

あなたがもらった贈り物の中で、今でもずっと役に立っていたり、心に残っているものはありますか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 12:1-11（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 さて、きょうだいたち、霊の賜物については、次のことをぜひ知っておいてほしい。2 知ってのとおり、あなたがたは、まだ異邦人だったとき、誘われるままに、ものの言えない偶像のもとに連れて行かれました。3 そこで、あなたがたに言っておきます。神の霊によって語る人は、誰も「イエスは呪われよ」とは言わず、また、聖霊によらなければ、誰も「イエスは主である」と言うことはできません。4 恵みの賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。5 務めにはいろいろありますが、仕えるのは同じ主です。6 働きにはいろいろありますが、すべての人の中に働いてすべてをなさるのは同じ神です。7 一人一人に霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです。8 ある人には、霊によって知恵の言葉、ある人には同じ霊に応じて知識の言葉が与えられ、9 ある人には同じ霊によって信仰、ある人にはこの唯一の霊によって癒やしの賜物、10 ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。11 しかし、これらすべてのことは、同じ一つの霊の働きであって、霊は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. １節によると、パウロは何を意図しているのでしょうか？

2. パウロは、3節で述べている「聖霊によらない人々」について、2節の「ものの言えない偶像」とどのように関連づけ、どんな警告をしているのでしょうか？そのつながりと警告とは何ですか？

3. 神が賜物を与えられた目的は何ですか？（7節）また、5〜6節に記されているさまざまな務めや働きを分析することで、7節にある『教会における賜物の主な目的』について、どのようなことが理解できるでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

パウロは『一人一人に霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです。』と述べています。コリントの人々はこの霊的賜物の目的をどのように誤解していたのでしょうか？また、聖書的な理解とはどのようなものでしょうか？

話し合い　その2：

教会の働きがどのように機能しているのかを他の人に説明するとしたら、どのような例えを用いますか？また、異なる人々が異なる賜物を用いて、共通の目的のために一つとなって働いている様子を説明するには、教会をどんなものにたとえますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。